



全教北九州

新聞 全教北九州

全教北九州市教職員組合

発行責任者 中川喜久子

NO.2 2016. 6. 17

HP : <http://zenkyokitakyu.on.coocan.jp>

【検索 全教北九州】

全教職員配布

来年4月から、北九州約五千人の教職員が市費負担教職員に！

勤務・労働条件改善、ブラック職場脱却！

勤務時間内に終えることができなかった仕事、残業や持ち帰り仕事になり、教職員は疲弊しきっています。超時間過密労働の働き方を余儀なくされているうえに、市費負担教職員の移行により給与等の勤務・労働条件の悪化や切り下げは認められません。北九州の教職員が安心して教育に携わることができるよう、勤務・労働条件の改善のみならず、教職員の働き方の改善にかかわる総合的な施策・対策の検討を全教北九州市教職員組合は合わせて要求します。

地方分権一括法に伴って来年4月、北九州の教職員は市が費用を負担する市費教職員に移行します。

さて、私たちの給与（給料・諸手当）や勤務時間、休暇などの勤務・労働条件は、現行のそれといくつかの条件で異なっています。そこで全教北九州市教職員組合（全教北九州）は、これまでの交渉・折衝において教育委員会にたいし教職員の働き方などの労働条件、さらにそれに関連する適正な教員定数、学級規模などの教育条件などの問題を伝え、勤務・労働条件や教育水準が今より低下することがないようにより低く下すことを求め、市教委側も現場の声を真摯に受けとめ今後検討すると回答しています。

教職員の働きに見合った

勤務・労働条件の 制度設計を望む

市教委は、教員の北九州市職員への移行に伴い、勤務条件などは、基本現行の市職員の制度に合わせるという立場です。しかし、移譲後の教員の定数等の教育水準改善の約束や超過勤務削減に向けての仕事情況削減等の具体的提案もないなか、給与の総支給額が減額されたり、病気休暇や子育て支援休暇などの休暇・職免がとりにくくなったりするなど、勤務・労働条件の切り下げだけを教職員に押し付けることは許されません。

全教北九州は、移行に伴う給与や労働条件等の勤務条件の激変には反対です。

制度上必要不可欠な変更以外は、県費負担教職員の制度・条件を引き継ぐことと長時間過密労働がはびこるブラック職場の改善を要求し、今後交渉を行います。

交渉決着は

納得と合意が基本！

全教北九州は、今後の交渉において働きやすい職場、教育に安心して取り組める職場をめざすために、市教委及び市当局に教職員の切実な願い・思いを届けていきます。市に対して「結論ありき」の姿勢ではなく、「納得と合意を基本」に交渉するよう要求します。また、それまでは決着を急ぐのではなく納得できるまで話し合いを継続するよう求めます。

全教北九州は、北九州の教職員の新たな制度に反映するように今後も交渉を行います。また、移譲の情報は今後も新聞「全教北九州」でお知らせいたします。



全教北九州も復興・生活支援に協力をしていきます。五月二十九日には、五名の教員で支援に行きました。これの参加した青年の感想です。

ひびき灘

おつかれさまです。青年部長の坂田です。本日、熊本へ行ってきました。

四月に大きな地震が起きてから、同じ九州に住む者として、何かお役に立てることはないかとずっと思っていました。機会があれば行ってお手伝いしたいと思っていたところ、全教からの要請もあり本日、熊本に行くことができました。

午前中は瓦礫の片付け、午後からはお家にお邪魔して部屋の片付けをさせていただきました。午前中は雨の中の作業でしたが、一時間ほどきれいになりました。

午後にお伺いしたいお家では、家具が倒れていたりガラスが散乱していたり。ご苦労が伺えました。こちらも一時間ほどきれいになりましたが、帰りに私たちが階段を降りていると、見えなくなるまで見送ってください、こちらの方が恐縮してしまいました。地震から一か月以上が経過していますが、特に高齢の方やお一人でお住いの方にとって、まだまだ支援が必要な状況だと感じました。今後も、少しでも早く復興に向けて支援ができれば、

と思います。

全教北九州は、教職員の願いや思いを市当局、市教委に確実に届けるために、六月学校に訪問して権限移譲署名やアンケート・聞き取り調査を実施します。

権限移譲により北九州の教職員の勤務・労働条件の改善をめざし、教職員の一人ひとりの願いや思いを署名いうかたちで示します。また、給与が減額されないように、年代ごとの生活実態に関するアンケート、聞き取り調査も行います。この結果をもとに、今後の交渉に臨みます。

教職員一人ひとりの声は小さくても、それがたくさん集まれば、大きな波になり、私たちの要求を実現する力になります。署名をすることで不利益を被ることはありませんし、個人情報目的以外につかうことはありません。要求の内容を讀まれて、賛同される方は署名に記名してください。また、よろしければ、この署名やアンケートを周囲の方にも勧めたい。私たちが身分上の問題、生活や働き方にもかかわる問題です。何らかの行動で教職員の気持ちや意思を行政に届けましょう。

全日本教職員組合(全教)がかかげる10の要求(概要)

- ① 憲法違反の「戦争法」廃止し、平和を守り、憲法をいかす政治と社会、教育を実現しよう。
- ② 安倍「教育再生」を許さず、子どもの笑顔かがやく学校を実現しよう。国の責任で30人学級、教職員定数の抜本的改善を実現しよう。
- ③ 長時間過密労働を解消し、子どもと向き合う時間の確保、ゆきとどいた教育を実現しよう。
- ④ 公務員賃金の削減を許さず、すべての労働者の雇用の確保、賃上げを実現しよう。
- ⑤ 子どもと教職員を苦しめ、「競争と管理」の教育をすすめる全国一斉学力テストを中止させよう。教員免許更新制を廃止させよう。
- ⑥ 貧困と格差の拡大から子どもたちを守り、すべての人が人間として大切にされる社会を実現しよう。
- ⑦ 子どもたちの進路と学習権を保障し、「高校無償化」の復活、給付制奨学金制度の確立、教育費無償化を前進させよう。
- ⑧ 被災地の願いを大切に、生活と生業の基盤を回復し、住み続けられる復旧・復興を実現しよう。原発事故の完全収束と万全な補償と安全対策、エネルギー政策を転換し、原発再稼働を許さず、原発ゼロの日本を実現しよう。
- ⑨ アメリカ言いなり政治をストップさせ、TPPからの撤退、「核兵器のない世界」の実現、米軍基地撤去、辺野古新基地建設阻止をめざし、日米軍事同盟を廃棄しよう。
- ⑩ 国連男女差別撤廃条約、男女共同参画社会基本法にもとづき、ジェンダー平等を実現しよう。

あなたの一票で、政治が変わる 教育が変わる

「戦争にはいかない。投票にいきよう！」

全教北九州は、「うちの職場投票率100%」

を教職員のみなさんに呼びかけています。

教員採用試験対策講座「鷹の爪」

採用試験対策講座に毎回お忙しいなか参加していただきありがとうございます。6月7日の対策講座では、面接に慣れようということで「集団面接」の練習を行いました。

なお、採用試験対策に関しての要望、質問、問い合わせなどを受け付けています。また、7月の第2週までの毎週火曜日、水曜日には、「ポラリス北九州」に青年教員が待機しています。「面接の練習をしたい」など要望にお応えしますので連絡をしてください。(採用試験とは関係ない仕事上の悩みや疑問なども遠慮なくお尋ねください。)

「ポラリス北九州」所在地・・・小倉北区黄金1丁目4-9-208 電話 280-4776